

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2021年2月1日 発行

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井宣光

(今年度よりデジタル配信です)

新型コロナウイルス感染症によって、尊い命を失った方々が、全ての苦しみから解放され、神の国で安らかに過ごすことができますように。愛する人を失い、悲しみの中にある家族がなぐさめられますように。苦しみ、不安のうちにある人々が、神様の救いによって癒（いや）されますように。医師と看護する者を守り、彼らの働きを助け導き、励ましてくださいますように。

(全校礼拝 チャプレンの祈りの言葉)

信号のない横断歩道

自動車通勤をしていますが、学校周辺には一方通行の狭い道路が多く、登下校の時間帯には近隣の小学生たちが自動車に注意しながら道路を横断します。十字路を渡ろうとする小学生を見かけると、車を停止させて、お先にどうぞと手振りをすると、たいていの児童はこちらを見て頭をペコリと下げてください。学校の山側のバス通りには、信号機がない横断歩道もあります。先日、中学生くらいの男の子が渡ろうと左右を見ながら待っていたので、車を停止させると、渡り終えた後の口元に「ありがとうございます」の言葉を浮かべて軽く会釈をしてくれました。こちら片手を挙げて見送りました。心が温かくなりました。見ず知らずの人との、小さな思いやりの交換ですから、余計そのように感じたのでしょう。道路交通法には、横断歩道では歩行者優先、と定めてありますが、JAF（日本自動車連盟）の調査によると、信号のない横断歩道で止まるドライバーの割合は、兵庫県は、長野県、静岡県に次いで第3位の43.2%とのこと。全国平均で17.1%（2019年調査）ですから、おおよそ8割のドライバーが、横断歩道で一時停止していないこととなります。ならば「信号を付けよ」という結論しているのではなく、ちょっとした思いやりをやり取りする場として、各地の信号のない横断歩道が貢献することを願いたいと思います。

松蔭の校内には、そこかしこに「信号のない横断歩道」の場面があるように思います。廊下の曲がり角で生徒とぶつかりそうになって、たがいに「ご免なさい。」と目をみて声をかけ合います。先生が両手一杯の教材を持って教室に向かっていると、「先生、持ってあげる」と手を貸す生徒に、先生は「ありがとう」と微笑み返します。朝の校門では、小さな会釈を添えて「おはよう」の声を相手に届けます。自然に積み重なるちょっとした行為の積み重ねが、人の心を柔らかく豊かな状態に保ちます。生徒たちは、県内だけでなく京都、大阪、岡山と半径100kmの範囲から「ぎゅっつ」と寄り集まって生活を共にするのです。自分本位の言動を慎（つつし）み、他者をリスペクトする心がけは、学校生活の多くを占める授業でも、その他の時間においても求められています。同級生どうしてケンカをして言い争いになったり、疎遠になったりすることも、人間どうしてすから起こることは当然ですが、「信号のない横断歩道」で交わされるような、ちょっとした思いやりを、折に触れて示し合いたいものです。

コロナによる全世界の死者は200万人を越え、国内でも1月下旬の時点で5千人以上の方が亡くなりました。数千単位感染者が毎日よう報告され、兵庫県、神戸市ともに感染状況は高い水準です。緊急事態宣言のもとで日常生活が制約されるなか、将来を見通すことの難しさに、底知れぬ不安感が折に触れて心を占める瞬間があります。しかし、困難のなかにこそ、気付くことや感じるようなものがあるようにも思います。ふと、26年前の阪神淡路大震災の直後の交差点の様子を思い出しました。停電や倒壊で信号が作動していなくとも、ドライバーたちは道を譲り合っていたように記憶しています。パンデミックとなっているからこそ、医師、看護師など医療従事者のために祈り、思いを寄せるのです。将来、この数年を振り返った松蔭生一人ひとりが、人として成熟し、一皮も二皮もむけた自分の姿に気付くことを期待します。コロナの時代には特に、「信号のない横断歩道」が育む心を大切にしたいと思います。

全校英検と漢検、無事終了

1月の最終週、英検と漢検受験を実施しました。英検は24日、英検一次試験の会場となった休日の本校で各級合格をめざしてチャレンジしました。前年度までの全校受験では、準会場として授業時間帯に実施し、先生方が監督をしていましたが、今回から一般の方に交って本会場受験です。いつもより緊張した面持ちで生徒たちは奮闘していたようです。28日は、一斉漢字検定受験でした。今後も目標とする級の合格に向け、積極的に取り組んでほしいものです。

高2 修学旅行（代替旅行）は中止に

昨年秋に予定していた修学旅行（高2、中3）を延期していました。高2については、今月中旬、沖縄本島への2泊3日の代替旅行を計画しましたが、県内および訪問先の沖縄県の感染状況や医療逼迫の状況により、中止することを決定しました。旅行団に発症者があった場合の学校としての対応や、保護者の方に現地への出迎えを要請する場合にも困難が予想されることによります。また、「Go To キャンペーン」を利用する予定でしたが、緊急事態宣言によりその再会の見通しが立っていないことも理由のひとつです。中3については、春休み中の3月下旬に長崎方面で計画していますが、感染状況を注視しながら、今月中旬には判断する予定です。

2月の行事予定

校内の主な行事予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

- 2月 2日（火）高2次年度コースⅡS 選抜試験(放課後)
- 2月 3日（水）中1性教育講演会（講師 神戸市助産師会）
中2ダンス特別授業（OSK 日本歌劇団）
中3実力考査 高2次年度コースⅡS 選抜試験(放課後)
- 2月 4日（木）40分授業 生徒会立候補者立ち合い演説会
- 2月 5日（金）2月お誕生礼拝 避難訓練（大地震想定）
- 2月 8日（月）中1ダンス特別授業（OSK 日本歌劇団）
高3探究学習発表会（放課後）
- 2月10日（水）高校入試・中3基礎学力判定試験 *中3以外の学年は自宅学習日
- 2月12日（金）通常時間帯再開（予定） 中1・中2実力考査
- 2月15日（月）高2性教育講演会（講師 マナ助産院永原郁子院長）
- 2月17日（水）中1DSアサーション講座・GS校外学習（人と防災未来センター）
中2性教育講演会（講師 神戸市看護大学高田昌代教授）
中3進路ライブ（先輩の体験を聴く）
高3学年登校日
- 2月18日（木）中3性教育講演会（講師 神戸市助産師会）
- 2月20日（土）にじ作業所パン販売（予定）
- 2月22日（月）高2進路ライブ（先輩の話）
- 2月24日（水）40分授業 生徒総会
中1進路ライブ（先輩の体験を聴く）
中学アゼンブリー（放課後）
- 2月25日（木）高校アゼンブリー（放課後）
- 2月26日（金）高3卒業感謝礼拝（松蔭大チャペル）・卒業式予行
- 2月28日（日）英検2次試験会場